

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）によります。この旅行は2025年11月1日現在を基準としています。
 ■旅行契約の解除
 参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
 ＜取消料＞
 お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
 ＜解除時期・取消料＞

契約の解除期日	取消料
旅行開始日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日以降	旅行費用の40%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
 ①企画手配料・及び手配料金
 ②交通費：旅程に明示した航空機（エコノミークラス）
 ③宿泊費
 ④食事代（朝3回 昼4回 タ3回）
 ⑤見学費用：旅程表に明示した市内の見学のガイド料、入場料（自由時間は除く）
 ⑥旅行傷害保険（死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円）
 ⑦航空特別保険、羽田空港施設使用料
 ⑧添乗員同行の費用:1名
 ⑨講師謝礼

- 旅行代金に含まれないもの
 ①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事及び個人的に購入（お土産、飲食等）したもの。
 ②1人部屋追加料金（6,000円／3泊）

- お部屋割り
 基本は2～3名様部屋になります。お一人部屋ご希望の場合、追加料金（6,000円/3泊）が別途必要です。最終的なお部屋割りでお一人部屋をお願いする場合も同様です。

宿泊予定ホテル

- ◆川市内内・・・CUBE HOTEL by SHIROYAMA
 ◆水俣市内・・・湯の児 海とタやけ
 ◆天草市内・・・天草プリンスホテル

または同等クラスホテル

利用予定航空会社

ANA（全日本空輸）・JAL（日本航空）

利用予定バス会社

友愛観光バス・西鉄観光バス

お 申 込 方 法

- ①申込書にもれなくご記入の上、富士国際旅行社あてに郵送またはfaxにてお送りください。
 ②別途送付の「国内旅行取引条件書」をご一読ください。条件確認後、申込金20,000円（旅行費用内金）又は旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へ振込みにてお支払いください（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込みとなります）。

郵便振替口座番号 00140-4-39332
 加入者名 株式会社 富士国際旅行社

恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。（領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください）
 ③ツアー実施が確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。
 ④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などのご旅行資料を送付いたします。

旅行企画・実施
 観光庁長官登録旅行業84号
 JATA正会員


 株式会社
 富士国際旅行社

TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201
 fujikokusaionline@gmail.com
 担当：山田・西須・伊藤・川村・小島

営業時間：月～金曜日／AM10：00～PM6:00
 （土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。）
 ホームページ：http://www.fits-tyo.com/

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
 ヒューリックみなとみらい11F-4
 総合旅行業務取扱管理者：西須 輝理

株式会社 富士国際旅行社宛 ●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書
 鹿児島・水俣・天草・佐賀をめぐる
 大人の学習体験旅行 in 九州 Part1
 2026年3月18日（水）発

ふりがな		性別	年齢	ふりがな		性別	年齢
氏名		男 女	歳	同行ご家族		男 女	歳
住所	(〒 ー)			電 話	(ー)	FAX【可・不可】	
	E-mailアドレス：			携 帯 番 号	(ー)		
勤務先 あるいは 緊急 連絡先	連絡先名 (続柄：)			部屋タイプ (旅行中)	1人部屋を希望 【 する ・ しない 】 2～3人部屋、同室希望の方： 様		
	住所			＜その他旅行会社への連絡事項＞			

鹿児島・水俣
 天草・佐賀
 大人の学習体験旅行in九州



Part 1

旅行期間
 2026年 3月18日(水)～3月21日(土) 4日間

※『いい旅いい仲間 78号』掲載の日程から変更がございます。

旅行代金
 171,000円 (羽田発着の場合)

※羽田空港以外の発着・現地参加希望の方はお問い合わせください。

定 員
 20名様 (最低実施人員15名)
 申込締切
 2026年 2月10日(火)
 添 乗 員
 1名同行します
 ※定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。

Point 01
 映画『ちやわんやのはなし』に登場する薩摩焼の名門、沈壽官窯を訪問

Point 02
 天草下島では世界遺産となった天主堂2つ、天草キリシタン館を訪問

Point 03
 佐賀空港ではオスプレイ配備問題を学びます

田園調布学園元教員の川口重雄さんが全行程同行・解説！
 各地の見所やご当地グルメをご案内頂きます。

Peace Green Humanity
 (株)富士国際旅行社

〒231-0062
 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7
 ヒューリックみなとみらい11F-4

旅行企画・実施

鹿児島・水俣・天草・佐賀 大人の学習体験旅行in九州 Part1 旅程表

日次	都 市	交通機関	日 程 / 食 事
① 3/18 (水)	羽 田 空 港 発 鹿 児 島 空 港 着 始 良 市 山 田 地 区 日 置 市 東 市 来 町 美 山 薩 摩 川 内 市 内 ホ テ ル 着	航 空 機 専 用 車	羽田空港 集合（集合時刻：午前8:30頃予定） 空路、鹿児島空港へ ＊山田凱旋門 ◆昼食 ＊沈壽官窯（ちんじゅかんがま） ＊九州電力川内原子力発電所 薩摩川内市内ホテル着、チェックイン ■夕食 朝× 昼○ タ○
② 3/19 (木)	ホ テ ル 発 熊 本 県 水 俣 市 着 水 俣 市 内 ホ テ ル 着	専 用 車	<水俣地区フィールドワーク> ＊相思社 ＊水俣病歴史考証館 ＊水俣湾親水公園 ＊百間排水口 ＊JR水俣駅 ＊茂道地区 など ◆昼食 ★講演会 ＊不知火海 >八幡残査プールを遠望 水俣市内ホテル着、チェックイン ■夕食 朝○ 昼○ タ○
③ 3/20 (金)	蔵之元港発/牛深港着 熊 本 県 天 草 市 天 草 市 内 ホ テ ル 着	フェリー 専 用 車	フェリーで長島町・蔵之元港から天草・牛深港へ ＊崎津天主堂 ◆昼食 ＊大江天主堂 ＊天草キリシタン館 天草市内ホテル着、チェックイン ■夕食 朝○ 昼○ タ○
④ 3/21 (土)	鬼池港発/口之津港着 長 崎 県 南 島 原 市 佐 賀 空 港 着 発 羽 田 空 港 着	フェリー 専 用 車 航 空 機	フェリーで天草・鬼池港から島原半島南端の口之津港へ ＊口之津歴史民俗資料館 ＊南島原市有馬キリシタン遺産記念館 <原城跡フィールドワーク> ・原城址史跡めぐり ・有馬キリシタン遺産記念館 ◆昼食 ＊諫早湾 潮受堤防（車窓） 佐賀空港へ >オスプレイ配備問題を考える 空路、東京・羽田空港へ （到着時刻：20:30頃予定） ■夕食 朝○ 昼○ タ×

※現地事情で見学日時・順序が入れ替わる可能性があります。予めご了承ください

旅のポイント・見学地



鹿児島・日置市美山

四百余年前、豊臣秀吉の朝鮮侵略時に連行され、陶工達によって伝えられた薩摩焼。初代から十五代に渡り、現代まで窯の火を守り続けている薩摩焼の窯元、沈壽官窯を見学します。「大東亜戦争」開戦・敗戦時の外相東郷茂徳記念館にも寄ります。

M O V I E



『ちやわんやのはなし』

2023年／日本／117分／

配給：マンシーズエンターテインメント

監督：松倉大夏

企画・プロデュース：李鳳宇

撮影：辻智彦、加藤孝

アニメーション：小川泉

出演：十五代 沈壽官、十五代

坂倉新兵衛、十二代 渡仁ほか

語り：小林薫



水俣みてあるき

水俣病は、チッソ水俣工場がメチル水銀を含む排水を36年間にわたって水俣湾に流したため、不知火海沿岸で魚介類を食べ続けた人々に発生した大規模な有機水銀中毒事件です。水俣病問題は一企業の犯罪にはとどまりません。便利で豊かな生活を追い求めるという行為が歴史の必然として産み落とした事件でした。

ツアーでは2日目に水俣を訪れ、1日かけて水俣病の歴史に向き合います。水俣病の原因となったメチル水銀の入った排水がチッソ工場から海に排出されていた百間排水口、水俣で一番大きな漁村で初期の患者激発地である茂道漁港などを訪ねます。

BOOK

『みな、やっとの思いで坂をのぼる
水俣病患者相談のいま』

永野 三智 著

価格：¥1,800＋税 出版社：ころから



不知火海を見下ろす丘の上に水俣病センター相思社はある。2004年の水俣病関西訴訟の勝訴にともない、「自分も水俣病ではないか」との不安を抱える数千の人たちが、いまでも患者相談を訪れる。著者は、相思社での患者相談などを担当する日常のなかで、自分の生まれ故郷でいまでもタブーとされる水俣

俣病事件の当事者たちと接するようになり、機関紙で「水俣病のいま」を伝えるための連載「患者相談雑感」を開始した。本書は、本連載をもとに大幅に加筆して一冊にまとめた記録だ。「やっと思いで語り出した人びとの声」がここにある。（出版社ホームページより）

九 州 全 図



天草でキリシタン史に触れる

キリスト教の潜伏期から復活期の足跡がのこる崎津集落は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産のひとつ。家々の間を縫うように走る「トウヤ」という小径や、海上にせり出すカケ（作業場）も見どころ。大江教会はキリスト教解禁後、天草で最も早く造られた教会です。現在の建物は1933年、フランス人宣教師・ガルニエ神父が地元信者と力を合わせて建立しました。崎津教会を「海の天主堂」と呼ぶのに対し、丘に建つ大江教会は「丘の教会」と呼び親しまれています。設計・施工したのは両方とも鉄川与助です。1907年には、北原白秋や与謝野鉄幹ら5人の若き詩人がガルニエ神父を訪ね、その時の様子は「五足の靴」と題した紀行文として発表されたことでも知られています。教会内部ではステンドグラスや、素朴で温かみのある天井や窓の装飾などを見ることができます。